



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

●群馬地名由来の探求●



ねえ、マーチィ。“みなかみ町須川”について教えてクリ!



旧三国街道須川宿・たくみの里

1年
の
一
枚

まち's クリ



マーチィ

須川(すかわ)には他に東峰須川、西峰須川、入須川、上須川と「須川」がつく大字が五つもあり、旧新里村だったんだよ。須川は川の名前で、この川の水について入須川地区では、「須川川の水を鉄瓶に使うと三年もたない」とか「鉄瓶に穴があく」と言われたほど酸性が強く、現在でも魚がすまない川とされていて、「酸川(すかわ)」と呼ばれ、「須川」の地名になったんだよ。江戸時代は三国街道の宿場で須川宿として栄えていたんだ。現在はたくさんの人が訪れる「たくみの里」として昔の村の雰囲気が守られているんだよ。

参考資料:「わたしたちの地名ぐんま」(社)群馬県子ども育成団体連絡協議会発行 「群馬の地名をたずねて」(株)上毛新聞社

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

伊勢崎市 企画部企画調整課 栗原 秀和



栗原秀和さん(一番右)

私は、平成25年度のパートナーネットワーク講座を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただくことができました。講座では、藤岡市や桐生市のまち歩きやワークショップなど、ふだんの仕事ではなかなかできない貴重な経験をさせていただいたと思っています。中でもワークショップのファシリテーターは緊張し、いろいろな立場の人の意見を聞きながら、時間内に議論をまとめていくというのは難しいものだと思感しました。講師の天下先生、アシスタントの滝沢さん、ほかの参加者の皆さん、事務局の皆さんには大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。



講座の様子

伊勢崎市の境島村では、世界遺産「田島弥平旧宅」の効果的な活用方法や周辺環境整備について検討するために、地元住民で組織する「境島村まちづくり推進会議」を開催しています。推進会議の「女性部会」には、天下先生にお越しいただき、観光客へのおもてなし対応などについてさまざまなアドバイスをいただいております。昨年度の成果として、境島村の目指す姿や境島村への来訪者に守っていただきたいルール、おもてなしの具体的な方策などをまとめた、「境島村まちづくりビジョン」の骨子ができあがりしました。本年度は、骨子をもとに、「境島村まちづくりビジョン」を策定する予定です。

世界遺産登録後、境島村のまちづくりはまだ始まったばかりといえますが、地元住民が中心となって、少しずつ前進を続けております。皆さんもぜひ一度、世界遺産「田島弥平旧宅」に足をお運びください。

マーチィの掲示板

吉岡町から来た柴田さん



今年の4月より人事交流職員として、吉岡町から群馬県都市計画課都市計画係に派遣されました柴田と申します。

今まで携わってきた業務は都市計画とは関連が薄い業務のため、法令等を把握していないことはもちろん、用語にすら不慣れなことが多くあり、課の皆さんにご指導及びご教示いただきながら、日々仕事しております。

吉岡町は人口減少及び超高齢化社会においても、町単体で見れば人口は増加しており、今後も人口が増加し続けていく町とされています。そのため住みよい環境整備や適切な都市化への誘導を図り、町の発展を継続していくためにも、都市計画が重要な一翼を担うと考えております。また都市計画は問題が生じてから対処するのではなく、先に先に決定していく必要があります。そこで都市計画の手続き及び法令について一生懸命学びたいと考えています。

実は、「おっ!! まっちゃん〜」に文書を書くのはこれが2回目になります。今回85号ですので、時が立つのは早いなとしみじみ思いました。

